Panasonic

取扱説明書（重要項目編）

レーザー複合機

品番 **KX-MB2081N**

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

消耗品／オプション品

■消耗品

本機を正しくお使いいただくために、弊社ではパナソニック製のトナーカートリッジとドラムカートリッジのご使用を推奨します。

– **トナーカートリッジ**
  - **品番：KX-FAT411N**
– **ドラムカートリッジ**
  - **品番：KX-FAD412N**
– **子機用電池パック**
  - **品番：KX-FAN55**
    ニッケル水素電池、DC 2.4 V、650 mAh

■オプション品

– **増設子機**
  - **品番：KX-FKD401、KX-FKD502**
– **中継アンテナ**
  - **品番：KX-FKD1**

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（3～10ページ）を必ずお読みください。**
- **初めて子機をお使いになる前には、約10時間充電してください。**

保障書別添付

- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

付属されているCD-ROMには、詳しい内容と操作方法が記載された取扱説明書が格納されています。取扱説明書を表示するには、Adobe® Reader®が必要です。

本機では、操作に使用する言語を日本語と英語から選択できます。
選択した言語が使用されます。初期値は日本語です。設定の変更方法については、取扱説明書（機能#110）を参照してください。

FOR ENGLISH USERS:
You can select English for the display and report of the base unit (feature #110).

もくじ

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日

シリアルナンバー（本機の背面部を見てください）

販売店名と住所

販売店電話番号

領収書を貼り付けてください。

お知らせ

- 購入時の段ボール箱と梱包材は、本機の輸送および運搬に備えて保存しておいてください。
- 本機を箱から取り出した後は、電源プラグキャップや梱包材を適切に取り扱ってください。

お知らせ

- **本機を操作する場合、本機近くの使いやすい場所に電源コンセントがある必要があります。**
- **電話機コードを延長しないでください。**

廃棄物の処分方法

- 当社では、環境保護のため使用済みのカートリッジを回収し、リサイクルを実施しております。使用済みのカートリッジを梱包箱に納めて、回収にご協力をお願いいたします。詳細は、カートリッジの梱包箱の記載内容をご覧ください。
- 本機が使用済みや不要となり、本機を廃却される場合は、お買い上げの販売店、サービス実施会社にご連絡ください。

商標

- Adobe及びAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- 本書に記載されているその他のすべての商標は、各所有者に帰属します。

1.1 安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。**
（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠危険

電池パックについて

■ **分解・改造しない**

分解禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■ **指定の電池パック以外は使用しない**

禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■ **付属の電池パックを、この機器以外に使用しない**

禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■ **専用の充電台を使用して指定の電池パックを充電する**

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

⚠危険

■ 火の中に捨てたり加熱しない

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■ ⊕⊖ 端子を金属などに接触させない

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■ 液もれしたとき、“液”に触れたり、目に入れない

目に入ると、失明の原因になります。

- 目に入ったら、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

■ ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

⚠警告

■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない
（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる　など）

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- 電源コードや電源プラグの修理は、サービス実施会社へご相談ください。

■ 必ず、アース線接続を行う

漏電した場合は、火災・感電の原因になります。

- アース線接続ができない場合は、サービス実施会社へご相談ください。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない

火災・感電の原因になります。

■ 付属品の電源コードは、他の製品に使用しない

火災・感電の原因になります。

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

詳しい操作については、CD-ROMに格納されている取扱説明書を参照してください。

⚠警告

■ **定格15 A・交流100V のコンセントを単独で使う**

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

■ **電源プラグのほこり等は定期的にとる**

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ **機内に水や金属物（クリップやステープル針など）が入ったときは、すぐに電源プラグを抜く**

電源プラグを抜く

機内の配線がショートして、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜いて、サービス実施会社へご連絡ください。

■ **発煙・異臭・異音などの異常が発生した場合は、電源スイッチを切り電源プラグを抜く**

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

● 使用を中止し、サービス実施会社へご相談ください。

■ **電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない**

禁止

コードが傷つき、火災、感電の原因になります。

● 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ（金属でない部分）を持ってください。

■ **ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない**

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

● ぬれた手をよくふいて電源プラグ（金属でない部分）を持ってください。

設置

■ **自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない**

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

■ **床、土台が不安定な場所や振動の激しい場所へは設置しない**

禁止

本機が倒れて、けがをする原因になることがあります。

■ **油煙や湯気や水のかかる場所、ほこりの多い場所には置かない**

禁止

火災、感電の原因になることがあります。

■ **狭い場所で使用するときは換気をよくする**

● 本機を長時間連続で使用する場合や、大量の印刷を同時に行う場合は、特にご注意ください。

操作保証措置

■ **清掃するときは、必ず電源を切る**

液体や霧状の洗剤を使用しないでください。

⚠警告

■ 本機の通風孔をふさがない

機内に熱がこもり火災の原因になることがあります。

■ 通風孔などから、本機内部に異物を入れない

火災・感電の原因になります。

- 本機に液体をこぼさないようにしてください。

■ 本機（オプションを含む）を分解・改造しない

レーザー光線による視力障害、または高温部分や高電圧部分にさわるとやけどや感電の原因になります。

- 修理は、サービス実施会社へご相談ください。

■ 取扱説明書で指示がない部分は操作しない

高温部分や突起のある部品にさわるとやけどやけがをする原因になることがあります。

- 内部をさわるときは、十分に注意してください。

■ 液体（合成洗剤や、研磨剤入りの洗剤など）を電話機コードのプラグにこぼしたり、電話機コードを濡らさない

火災の原因になります。

- 万一、電話機コードが濡れた場合は、すぐに電話機コードを壁のコンセントから抜き、使用を中止してください。

■ 次のような場合は、すぐに電源プラグを抜く

サービス実施会社へご相談ください。

– 電源コードに破損や擦り切れがあるとき
– 本機が雨や水にさらされて濡れているとき、または本機に液体をこぼしたとき

本機部品を電子レンジで乾かさないでください。回復不能な故障の原因になる恐れがあります。

– 取扱説明書に従って操作しても正しく動作しないとき
取扱説明書に記載してある操作だけを実施してください。不適切な調整や操作による故障は、高額な費用を要する場合があります。
– 本機を落下させたり、物理的な損傷があったとき
– 本機の性能に特徴的な変化があったとき

コードレス子機

■ 外観が破損して、内部構造が見えている場合、電源プラグを抜き、内部を触らない

■ 電源プラグを激しく引っ張ったり、曲げたり、重たい物体の下に置かない

■ 心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す

電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

■ 医療機器の近くでの設置や使用をしない（手術室、集中治療室、CCU*などには持ち込まない）

本機からの電波が医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

*CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

⚠注意

設置と配置

■ 寒い場所から暖かい場所へ移動した後は、30分ほどたってから電源を入れる

すぐに電源を入れた場合、機器内部で結露が起こり、誤動作の原因となります。

- 本機が周辺温度に対応するまで放置してから電源を入れてください。

■ 本機を移動するときは、上下逆さまにしたり、横向きにしたりしない

禁止

■ 雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

■ 防水端子以外は、電話回線端子を濡れる場所に置かない

禁止

■ 電話回線に接続しているとき、絶縁処理されていない電話機コードや端子には触れない

禁止

- 電話機コードを接続したり、修理したりするときは十分に注意してください。

■ 電話機コードを接続したり、修理したりするときは十分に注意する

■ 紙詰まりはそのまま放置しない

禁止

高温部の紙詰まりを放置すると紙が発火し、火災の原因になることがあります。

- 紙詰まりは確実に取り除いてください。

■ 鎖の長いブレスレットやネックレスなどをつけて操作しない

禁止

機内に触れたり、巻き込まれて、感電やけがをする原因になることがあります。

- 万一事故がおきたときは、電源プラグを抜き、サービス実施会社へご連絡ください。

■ 動作中に光源ランプを直視しない

禁止

ランプの光により、目を傷める原因になることがあります。

■ 本機に重いものを置いたり、乗ったり、トレイなどに体重をかけたりしない

禁止

物が落下したり、転んだり、落ちてけがをする原因になることがあります。

⚠注意

■ **用紙を満載にすると重くなるので、取り扱いに注意する**

給紙カセット ： 約 2 kg

■ **原稿台（ガラス）に衝撃を与えたり、重いものを載せたりしない**

禁止

ガラスが割れてけがをする原因になることがあります。

- ガラスが割れたときは、電源プラグを抜いてサービス実施会社へご連絡ください。

■ **電源スイッチをオフ／オンしても“コールサービス”が表示され続けたり、異音など異常な動作をしたときは、必ず電源プラグを抜く**

電源プラグを抜く

火災、感電の原因になることがあります。

- “コールサービス”のエラー番号をメモして、サービス実施会社へ連絡してください。

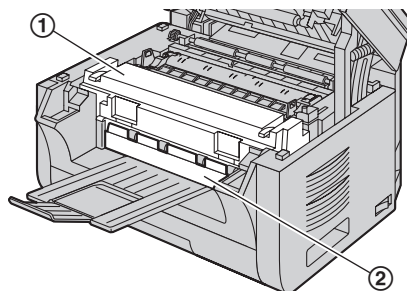
■ **高温表示部とその周辺にはさわらないよう注意する**

高温注意

高温部分にさわるとやけどの原因になることがあります。
印刷中または印刷直後、定着部（①）は高温になっています。これは正常な状態です。
定着部には触れないでください。

- 紙づまり処置などで内部をさわるときは、十分に注意してください。

お知らせ

- 用紙排出部付近（②）も暖かくなります。これは正常な状態です。

■ **電源コードは必ず付属のものを使用する**

火災、感電の原因になることがあります。

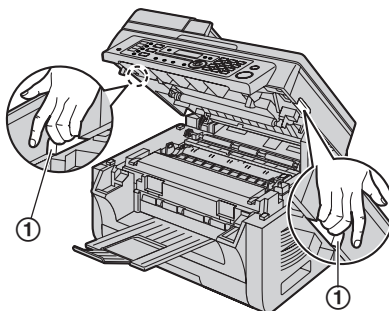
■ **シンナー・ガソリンなどの引火性の高いものの近くに設置しない**

禁止

ガソリンなどが発火し火災をおこす原因になります。

操作保証措置

■ **トップカバーを開閉する場合は、本体の両側面にあるくぼみを持つ（①）**

けがをする原因になりますので、指をトップカバーの下に入れないように注意してください。

■ **トップカバーを閉じるとき指の挟みこみに注意する**

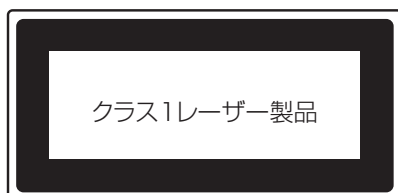
指はさみ注意

けがの原因になることがあります。

⚠ 注意

レーザーの安全性について

■ 本機のプリンターでは、レーザーを使用しているので注意する

ここに規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。

- 本機はレーザークラス1の製品です。取扱説明書に規定した手順に従って正しくお使いください。

レーザーダイオード特性
レーザー出力：最大15 mW
波長：760 nm - 800 nm
放出持続時間：連続

トナーカートリッジ

■ 摂取、吸引、皮膚接触をしないように注意する

- トナーが口に入ったときは、多めの水を飲んで胃の中を希釈してください。
- トナーを吸い込んだときは、その場所を離れてきれいな空気の場所へ移動してください。
- トナーが皮膚に触れた場合は、石けんと冷水で十分に洗い流し、自然乾燥させてください。お湯で洗ったり、ドライヤーで乾かさないでください。
- トナーが目に入った場合は、水で十分に洗い流してください。
- 上記いずれの場合でも異常があるときは、直ちに医師に相談してください。

■ トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じない

禁止

トナー粉がはねて、やけどの原因になることがあります。

■ トナーまたはトナーの入った容器を子供の手の届くところに置かない

禁止

誤ってトナーを飲み込むおそれがあります。

コードレス子機

■ 電源プラグは、本機の近くにあるコンセントに差し込み、簡単に抜き差しができるようにする。

■ 次のような場合は、電話をかけることができないので注意する

- 子機の電池が充電されていない、または破損しているとき
- 停電が発生したとき
- キーロック機能が設定されているとき

■ 充電台に磁気に弱い物（キャッシュカード、通帳など）を近づけない

禁止

充電台からの磁力線により、磁気に弱いものは使えなくなることがあります。

■ 充電台にコインや指輪などの金属物をのせない

禁止

金属物が熱くなり、やけどの原因になることがあります。

⚠注意

■ **壁掛けにするときは、落下しないように しっかりと取り付ける**

落下により、破損やけがの原因になることがあります。

- 石こうボード、ALC（軽量気泡コンクリート）、コンクリートブロック、厚さ18 mm 以下のベニヤ板など、強度の弱い壁は避け、指定の方法で取り付ける。

USBケーブル／LANケーブル

■ **電磁波放射限度に関する規定を順守するケーブルを使用する**

– 必ずシールドUSBケーブル（例：USB 2.0 Hi-Speed対応ケーブル）を使用してください。
– 必ずシールドLANケーブル（カテゴリ5（CAT5）イーサネットケーブル）を使用してください。

2.1 法律で禁じられていること

次のようなコピーは法律により罰せられますので十分ご注意ください。

- 法律でコピーを禁止されているもの
  1. 国内外で流通する紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券
  2. 未使用の郵便切手、郵便事業株式会社製の郵便はがき
  3. 政府発行の印紙、酒税法や物品管理法で規定されている証紙類
- 注意を要するもの
  1. 株券、手形、小切手など民間発行の有価証券、定期券、回数券などは、事業会社が業務上必要最低部数をコピーする以外は政府指導によって注意が呼びかけられています。
  2. 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可書、身分証明書や通行券、食券などの切符類のコピーも避けてください。
- 著作権の対象となっている書籍、絵画、版画、地図、図面、写真などの著作物は個人的または家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は禁じられています。

2.2 電源高調波についてのお知らせ

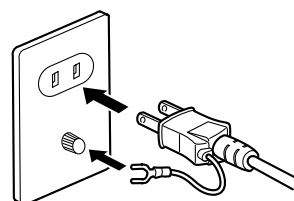
JIS C 61000-3-2 適合品
本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

2.3 電波障害防止について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。
VCCI-B

2.4 保護接地導体（アース線）接続について

2.4.1 電源コードの接続

接地接続は、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

2.5 電波について

- 本機は、1.895.616～1.902.528 MHz の帯域を使用する無線設備です。
  本機には、1.9 GHz帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す下記のマークが表示されています。（一般社団法人　電波産業会　標準規格「ARIB STD-T101」準拠）

  1.9ーD

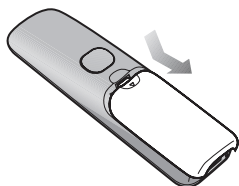
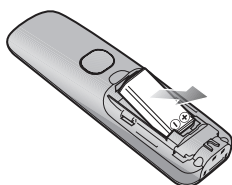
- 本機は、Digital Enhanced Cordless Telecommunicationsに準拠した日本国内向けの通信方式です。

  Digital Enhanced Cordless Telecommunications
  次世代デジタルコードレス通信方式

- 本機の使用周波数に関わるご注意
  本機の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。
  1. 本機は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電源プラグを抜いて、システムお客様ご相談センター（裏表紙）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
  2. その他、何かお困りのことが起きたときは、システムお客様ご相談センター（裏表紙）へお問い合わせください。

2.6 子機の電池パックを交換する

電池パックは消耗品です。充電完了まで充電しても通話数分後に電池残量表示が点滅したら、新しいものと交換してください。

1 子機の電池カバーを押し下げながら、手前に引いて開ける。

2 古い電池パックを外す。

3 新しい電池パックを入れて、充電する。

古い電池パックはリサイクルに…

- この製品には、ニッケル水素電池を使用しています。
- ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- 交換後不要になった電池パック、および使用済み製品から取り外した電池パックのリサイクルに際しては、ショートによる発煙・発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOX に入れてください。
- リサイクル協力店のお問い合わせは、下記へお願いします。
  - 製品、ニッケル水素電池パックをご購入いただいた販売店
  - 一般社団法人JBRC
および充電式電池リサイクル協力店
くらぶ事務局

一般社団法人JBRC のホームページ http://www.jbrc.com

- リサイクル時のお願い
  - 電池パックはショートしないようにしてください。火災・感電の原因になります。
  - ビニールカバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
  - 電池パックを分解しないでください。

2.7 その他

- 重要な通話は親機をお使いください。
本機は子機での通話にデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使うため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。
- 補聴器の種類によっては通話中に雑音が入る場合があります。
子機で通話中に雑音が入る場合は親機をお使いください。

3.1 アフターサービスについて

1　保証書（別に添付してあります。）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売会社・販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保証期間- お買い上げ日から本体1年間

消耗品は保証期間内でも有料とさせていただきます。

2　修理を依頼されるとき

取扱説明書の「ヘルプ」章に従って調べていただき、直らないときには必ず電源プラグを抜いておいてから、お買い上げの販売会社・販売店または、サービス実施会社に修理をご依頼ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売会社・販売店またはサービス実施会社が出張修理をさせていただきます。

お買い上げの販売会社・販売店またはサービス実施会社にご依頼にならない場合には、保証書表面に記載されています電話先へお問い合わせください。

連絡していただきたい内容
- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・品番・お買い上げ日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日

■保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売会社・販売店または、サービス実施会社へご依頼ください。

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。

＊ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

販売会社・販売店またはサービス実施会社にご依頼にならない場合には、保証書表面に記載されています電話先へお問い合わせください。

3　補修用性能部品の保有期間

本機の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後、**5年間**保有しております。

4　アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売会社・販売店・サービス実施会社または保証書表面に記載されています電話先へお問い合わせください。

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK 0120-878-410（パナハ ヨイワ）　受付：9時～17時30分　（土・日・祝祭日は受付のみ）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

・パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

- 本機は日本国内用に設計されています。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
- This product is designed for use in Japan.
  Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687　東京都目黒区下目黒二丁目３番８号

PNQW2962ZA D0911YT0